



# さわけん 通信

## (温かいまちづくり)

子どもからお年寄りまで

安心して生きがいを持って暮らせる

赤磐市を目指して

平成26年7月発行

### 今回の通信について

赤磐市における「まちづくり」の提案の第一弾として、桜が丘地区東西の融合を行い、そしてコミュニティ作りの強化のために、桜が丘いきいき交流センター（以下交流センターという）にお世話が大好きな公民館職員（地域コーディネーター）を置くことを提案したいと思います。

## 《提案：交流センターにお世話が大好きな公民館職員をおこう》

### I. 桜が丘地区には地域コミュニティ作りの核である公民館がない。

まずは、桜が丘地区と同じニュータウンの山陽団地を見てみましょう。山陽団地の山陽公民館では、いつもこやかにお世話が大好きな職員が利用者を迎え、公民館便りを毎月発行しています。山陽西小学校支援ボランティアのコーディネーターは、公民館職員が兼務し、町内会との連携もよくとれています。また、子どもiランドという放課後子ども教室を土曜日の隔週に公民館等で実施し、子どもの居場所づくりをしています。他にも、山陽団地の地域課題解決の講座を実施するなど、地域コミュニティの核として大変な働きをしています。公民館便りや講座など公民館費用は、当然、赤磐市の税金が使われているわけです。

桜が丘地区は、どうでしょう。合併10年ですが、引き続き東西の融合は難しく、多くの住民がもともと住んでいる在来地区と比べ、コミュニティ作りが十分できていません。16,000人の人口があるのに、コミュニティ作りの核になるべき、公民館がありません。もちろん桜が丘地区に適した講座もなく、車の運転できない人は、他の公民館講座にも行きにくいわけです。

当然桜が丘地区に公民館を作って欲しいという住民の要望がありますが、今、行財政改革を進める赤磐市にとって、すぐに、大きな建物の公民館を作ることは、難しいわけです。

そこで、提案したいのは、交流センターに山陽公民館のようなお世話が大好きな公民館職員（地域コーディネーター）を置いて、同じ仕事をしてもらおうということです。今までの交流センターの機能はそのまま、それに公民館機能を付加し、東西が融合していくコミュニティづくりの核を作りたいということです。



いつも笑顔で迎えてくれます

## Ⅱ. 具体的にお世話が大好きな公民館職員（地域コーディネーター）がすること（私案です）

### 1. 交流センターのコーディネーターは、いつも笑顔で迎えてくれ、なんでも相談できる

桜が丘地区には、新たな方がどんどん入居されています。その方たちのためにも、また、お年寄りや子育て世代の方にも、なんでも相談できて、なにがどこにあるか書いてある「桜が丘地区のお役立ちマップ（地域コーディネーター作成）」をもらえます。

### 2. （仮称）桜が丘通信の発行

人と人とがふれあうためには、まず、地域の情報が必要です。桜が丘地区のイベントや登録団体の会員募集などの記事を掲載した桜が丘通信を定期的に発行します。

### 3. 自主講座の企画・開催

他の公民館と同じように、夏休みの子ども向け講座をはじめ、桜が丘地区の課題解決のための多様な自主講座を開催します。

### 4. 登録団体や学校支援ボランティア制度などとの連携

現在交流センターの文化祭はありますが、まだまだ登録団体同士や学校支援ボランティア制度、その他の地域の団体などの連携が不十分です。人と人、団体と団体を地域コーディネーターは結び付けていきます。

### 5. 桜が丘東・西連合町内会との連携

桜が丘東西連合町内会と地域コーディネーターが連携をとることで、桜が丘プラザ（商工会跡地に連合町内会が運営するもの）の有効利用（鍵の管理や利用調整も行います）をはじめとして、さらにコミュニティ作りがすすみます。

### 6. 印刷機の貸出

現在交流センターにある印刷機を実費有償で利用できます。登録団体や市民団体や町内会等のグループが印刷機をつかうことで、より、多くの人に情報発信ができます。  
〔赤坂公民館では、製版原紙1枚50円、印刷1枚1円（紙持込みの場合）で利用できます〕

地域コーディネーターを交流センターに置くことで、さらに、住民同士の結びつきが増し、桜が丘地区は住みやすいまちになります。そしてそのことで、子育て世代を中心に多くの人たちが桜が丘地区に移り住み、赤磐市の人口を増やすことができると私は確信しています。

## Ⅲ. 地域コーディネーターの必要性を議論して、ニーズを盛り上げていきましょう。

3月議会の質問で地域コーディネーターの交流センターの配置をお願いしたところ、友實市長は、「配置を研究していく。地域が盛り上がるのが配置の前提だ。」と言われました。

人口減少社会・超高齢化社会の大波が音をたてて確実に日本に押し寄せてきています。数多くの市や町も消滅するところがあります。これに対抗できるのは、住民の結束力です。その核づくりとして地域コーディネーターは絶対に必要です。

住民みんなで議論して、配置を要望していきましょう。

まずは、下記FAX・メールなどで、ご意見をいただければありがたいです。



発行元 さわ けん（澤 健） 赤磐市桜が丘東4-4-242 TEL : 086-995-3820  
FAX : 086-995-9677 メール kenzi-s@ms3.megaegg.ne.jp  
さわけんHP <http://www.sawaken-smile.com/>